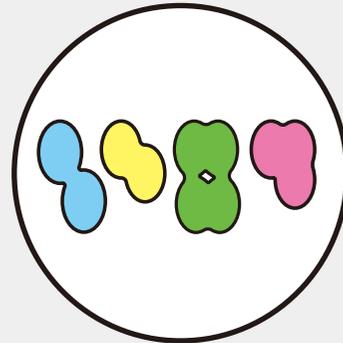


第2回 Colorful Photolympics

協賛企業様向け提案書



COLORFUL PHOTOLYMPICS

【主催】 東京工芸大学／一般社団法人カラフルフォトリンピック

主催者



東京工芸大学

所在地：東京都中野区本町2丁目9-5

設立：1923年

学部：芸術学部、工学部

学長：吉野弘章

学生数：1,043名(2024年5月1日現在)



一般社団法人カラフルフォトリンピック

所在地：東京都江東区古石場3丁目11-17

設立：2025年5月

事業目的：カラフルフォトリンピックの運営

代表理事：内木美樹（株式会社華ひらく 代表取締役）

理事：上田 耕一郎（東京工芸大学芸術学部写真学科教授）

理事：勝倉峻太（東京工芸大学芸術学部写真学科准教授）

理事：福島 治（東京工芸大学名誉教授）

一般社団法人カラフルフォトリンピック



代表理事：内木美樹

1982年生まれ。米国ネバダ州の Peppermill Resort Spa Casino を経て、2010年に株式会社華ひらくを設立。飲食店専門のインバウンド接客専門家として全国でレッスンやセミナーを行う。長男が重い障害をもって生まれた事をきっかけに、障害があっても堂々と生きられる社会を目指して「カラフルモデル（障害のあるキッズモデル）」と「障害児から学ぶダイバーシティ研修」を開始。テレビや新聞、ラジオなどメディア出演は30以上。著書に「うちの子には障害があります（スター出版）」がある。



理事：上田耕一郎

1968年生まれ。肖像写真を専門分野とする。論文に「写真雑誌に見る表現の変遷—アマチュアは何を写してきたのか？」日本写真芸術学会誌(2004年)。展覧会に「佐渡の記憶」新潟市美術館市民ギャラリー(2004年)、「東京散策」フレームマン・ギンザ・サロン(2013年)などがある。東京工芸大学芸術学部写真学科教授。日本写真芸術学会副会長、日本写真学会会員、日本写真協会会員、ピンホール写真芸術学会会員。



理事：勝倉峻太

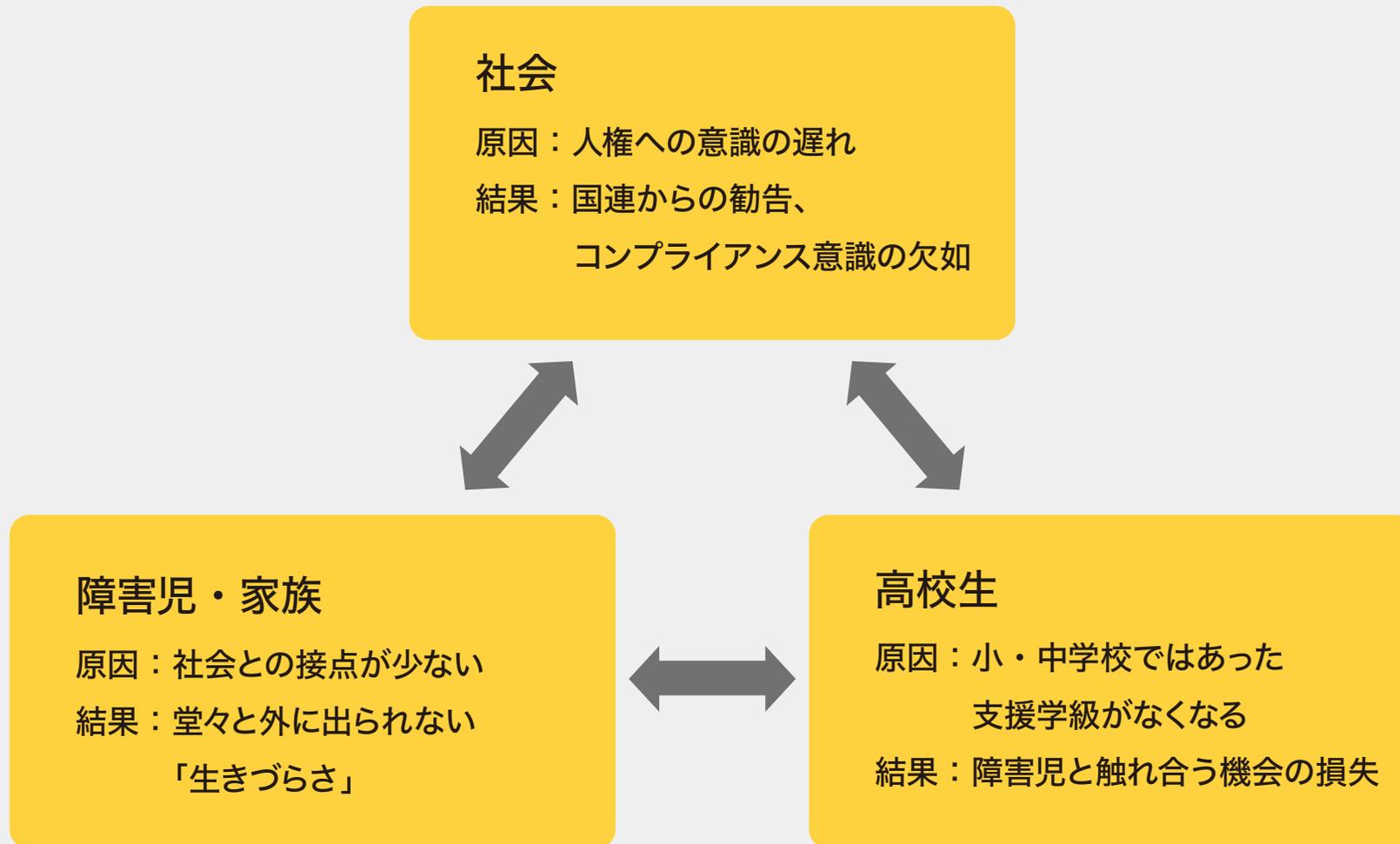
1978年東京生まれ。自分が生きた時代を独自の方法で写真に残すことをテーマに作品を制作している。近年はフランス、インドネシア、アメリカで展示を行うなど、海外での発表に力を入れている。展覧会には「Capturing the Time Passed」(AUGHT NEW YORK, 2023)「名もなき話」(nap gallery, 2017)などがある。清里フォトアートミュージアムに作品収蔵。東京工芸大学芸術学部写真学科准教授。



理事：福島治

1958年広島生まれ。浅葉克己デザイン室、ADKを経て、1999年福島デザイン設立。2020年には発起人、総合プロデューサーとして「アートパラ深川おしゃべりな芸術祭」を設立。令和3年度『障害者の生涯学習支援活動』に係る文部科学大臣表彰を受賞。世界ポスターリエンナーレトヤマ・グランプリ、メキシコ国際ポスタービエンナーレ第1位、カンヌ広告フィスティバル金賞、国内外の30以上の賞を受賞。(有)福島デザイン主宰、(株)フクフクプラス共同代表、東京工芸大学デザイン学科名誉教授、日本デザイナー学院顧問。

3つの背景



解決策

Colorful Photolympics とは

高校生が障害児を撮影する、全国ダイバーシティ写真コンテスト

撮影会

高校生に障害児とふれあう機会の提供。

撮影日は1日障害児とふれあい、撮影を通してコミュニケーションします。

「ちがい」を受容できる優しい人材の育成。

障害児にとっても多様な人と触れ合うことで人間的成長につながります。

作品展

高校生が撮影した写真と撮影で感じた率直なメッセージを社会に発信。

高校生にとって自分の写真が障害児のありのままの姿を魅力的に

発信できることで、写真の伝える力を学びます。

社会

写真の力を使って、障害があっても堂々と生きられる

インクルーシブな社会の実現。

カラフルフォトリンピックを毎年継続し、少しずつ規模を拡大することで

1人でも多くの高校生への多様性理解の学びの場にします。

第2回カラフルフォトリンピック開催概要

対象者： 高校生
(フリースクール、通信、高専、
インターナショナルスクールなど含む)

応募資格：カメラ、写真が好きである事
2000万画素以上のカメラがあることが望ましい

募集人数：先着 30 名
(1都3県の高校をメインに案内状の配布)

流れ： 1) お申込み (5月中旬～6月末)
2) 撮影会 (8月末)
3) 写真と作文の提出 (9末まで)
4) 審査期間 (10月)
5) 授賞式&セレモニー (11月)
6) 写真展 (11月～)



第2回カラフルフォトリンピック実施スケジュール

撮 影 日程：2025年8月末
場所：和洋学園 国分キャンパス（千葉県市川市）

応募作品 ①写真 ②作文

表彰内容 金賞、銀賞、銅賞、審査員賞（計4名）、
協賛企業賞、秀作賞（若干名）

授賞式 &

セレモニー 日程：2025年11月（予定）
場所：東京工芸大学 6号館キャンパス

作品展 日程：2025年11月～（予定）
場所：東京工芸大学 6号館キャンパス



協賛企業募集

プロジェクトを継続するためには、活動に共感してくださる協賛企業の協力が必要不可欠です。

■ ゴールド・パートナー以上の協賛には、御社の名前の企業賞を設置いたします。御社の賞に選ばれた高校生との記念写真や受賞作品を CSR の広報に使うことが可能です。

■ プレミアム・パートナー以上の協賛には、私たちしか提供出来ない、「障害児家族」に対する独自アンケート調査の実施やカラフル・ダイバーシティ検定も提供させていただきます。

■ 個人情報の取得が難しくなっている中で、100 名を超える障害児家族への独自アンケート調査も、御社の商品開発やサービスに有効だと思えます。2024 年に合理的配慮が義務づけられたので、カラフル・ダイバーシティ検定は社員の人材育成教育に役立ちます。



主な特典と協賛金額

SPECIAL
スペシャル
100万円

- 【1】 当コンテスト印刷物に御社名掲載
- 【2】 当コンテスト公式ホームページと、授賞式・セレモニー・作品展で展示されるパネルに御社名とロゴ（特大）掲載
- 【3】 御社名受賞作品に加え、入賞作品の中から最大2点、主催者から提供された撮影会の様子の写真を、「広報」と「広告」として1年間起用
- 【4】 カラフルモデル3名までを最長3年間起用（撮影は1回）
- 【5】 カラフルフォトリンピックのロゴの使用
- 【6】 御社名のついた賞を新設（審査会で作品を選んでいただきます）
- 【7】 カラフル・ダイバーシティ検定「エキスパート編」
- 【8】 100人以上の障害児者家族に御社独自のアンケート調査実施

【7】 と 【8】 の詳細は最終ページに説明があります。

※ 撮影にかかる場所代、モデルや保護者の交通費、宿泊費、カメラマンへの謝礼は別途かかります。」

※ 広告としてご利用可能なお写真は各企業でお選びいただけますが、撮影者である高校生から承諾を得た作品に限ります。

主な特典と協賛金額

PREMIUM
プレミアム
50万円

- 【1】 当コンテスト印刷物に御社名掲載
 - 【2】 当コンテスト公式ホームページと、授賞式・セレモニー・作品展で展示されるパネルに御社名とロゴ（特大）掲載
 - 【3】 御社名受賞作品に加え、入賞作品の中から最大2点、主催者から提供された撮影会の様子の写真を、「広報」と「広告」として1年間起用
 - 【4】 カラフルモデル3名までを最長3年間起用（撮影は1回）
 - 【5】 カラフルフォトリンピックのロゴの使用
 - 【6】 御社名のついた賞を新設（審査会で作品を選んでいただきます）
 - 【7】 （A）もしくは（B）のどちらかをお選びください。
 - （A）カラフル・ダイバーシティ検定「エントリー編」
 - （B）100人以上の障害児者家族に御社独自のアンケート調査実施
- 【7】の詳細は最終ページに説明があります。

※ 撮影にかかる場所代、モデルや保護者の交通費、宿泊費、カメラマンへの謝礼は別途かかります。」

※ 広告としてご利用可能なお写真は各企業でお選びいただけますが、撮影者である高校生から承諾を得た作品に限ります。

主な特典と協賛金額

GOLD
ゴールド
30万円

- 【1】 当コンテスト印刷物に御社名掲載
- 【2】 当コンテスト公式 ホームページと、授賞式・セレモニー・作品展で展示されるパネルに御社名とロゴ（大）掲載
- 【3】 御社名受賞作品に加え、入賞作品の中から最大2点、主催者から提供された撮影会の様子の写真を、「広報」として1年間起用
- 【4】 カラフルモデル3名までを最長3年間起用（撮影は1回）
- 【5】 カラフルフォトリンピックのロゴの使用
- 【6】 御社名のついた賞を新設（審査会で作品を選んでいただきます）

※ 撮影にかかる場所代、モデルや保護者の交通費、宿泊費、カメラマンへの謝礼は別途かかります。」

※ 広告としてご利用可能なお写真は各企業でお選びいただけますが、撮影者である高校生から承諾を得た作品に限ります。



主な特典と協賛金額

SILVER

シルバー

10万円

- 【1】 当コンテスト印刷物に御社名掲載
- 【2】 当コンテスト公式 ホームページと、授賞式・セレモニー・作品展で展示されるパネルに御社名とロゴ（中）掲載
- 【3】 金賞受賞作品と主催者から提供された撮影会の様子の写真を、「広報」として 1年間起用
- 【4】 カラフルフォトリンピックのロゴの使用

BRONZE

ブロンズ

5万円

- 【1】 当コンテスト印刷物、公式 ホームページと、授賞式・セレモニー・作品展で展示されるパネルに御社名掲載
- 【2】 金賞受賞作品と主催者から提供された撮影会の様子の写真を、「広報」として 1年間起用
- 【3】 カラフルフォトリンピックのロゴの使用

◆ カラフル・ダイバーシティ検定 ◆

【 エントリー編 】 90 分

■ 研修：内木による講座（90分）

- ◎ 障害に関するクイズ
- ◎ 「障害」と「障がい」どちらの表記が
いいのか
- ◎ 障害は個性ではありません
- ◎ 障害者目線で考える本当に必要な合理的
配慮とは
- ◎ ワークショップ 等

【 スタンダード編 】 120 分

■ 研修：内木による講座（60分）

- ◎ 障害に関するクイズ
- ◎ 「障害」と「障がい」どちらの表記が
いいのか
- ◎ 障害は個性ではありません
- ◎ 障害者目線で考える本当に必要な合理的
配慮とは

■ 障害児者の保護者によるパネルディス カッション（60分）

- ◎ ワークショップ

【 エキスパート編 】 180 分

■ 研修：内木による講座（60分）

- ◎ 障害に関するクイズ
- ◎ 「障害」と「障がい」どちらの表記が
いいのか
- ◎ 障害は個性ではありません
- ◎ 障害者目線で考える本当に必要な合理的
配慮とは
- ◎ 本日のカラフル先生紹介 等

■ 障害児から学ぶダイバーシティ研修 （120分）

- ◎ 障害児と遊ぶという非日常を体験
- ◎ 言語以外のコミュニケーション
- ◎ 障害児を育てる保護者にインタビュー

◆ 100人以上の障害児者家族に合理的配慮等のアンケート調査 ◆

◎ 回答数：最小 100 人～最大 200 人

◎ 質問数：1 人 5 問まで (コメント欄あり)

(※1) 2024 年には事業者にも合理的配慮が義務化されました。その一方で、個人情報を取得することが困難になっており、商品開発やサービスに必要な障害者の生の声を知ることが難しくなっています。

■ 華ひらくは『チーム☆チャレンジ』という障害児者の保護者向けのコミュニティを運営しており、登録者数は 300 名以上です。

『チーム☆チャレンジ』では障害児者家族の生の声を、アンケートやリサーチなどで集める事が可能です。貴社に必要な、商品開発やサービスの質問に対する障害児者の家族の意見を提供できるので、障害者が本当に必要としている合理的配慮等の情報を得る事が可能です。

[障害児者の家族の声を 100 以上集められる団体は、日本でおそらく『チーム☆チャレンジ』だけです]